

# CMK

## 第44期 中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで

Creating

the future

日本シイエムケイ株式会社

証券コード：6958



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社は平成15年9月30日をもちまして第44期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに謹んでご挨拶かたがた当中間期の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間期のわが国経済は、米国経済の先行きや重症急性呼吸器症候群（SARS＝サーズ）の影響の懸念がありましたものの、輸出の持ち直しと設備投資の増加を背景とした緩やかな底離れの局面を迎え、企業収益の改善と株価上昇により経営者心理は好転いたしました。しかしながら、デフレ経済の出口はなお遠く、円高の加速もあり、景気の浮揚力はきわめて弱いまま推移いたしました。

一方、当社が属するプリント配線板業界は、長引くIT（情報技術）不況と低コストの中国製品などの影響により、需要環境は大変厳しい状況が続いておりますものの、その中において、デジタルスチルカメラ（DSC）やカメラ付き携帯電話機といったデジタル製品向けが比較的好調に推移いたしました。

当社は、中期経営計画のもと、グループ全体の業績向上を目指し、徹底した合理化を追求中であります。さらに国内生産体制の見直しや、海外生産体制の充実を図り、また、高付加価値製品の一層の強化を推進してまいります。

なお、当期中間配当金は、前期中間配当金と同様、1株につき5円とさせていただきます。

株主のみなさまには、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

代表取締役社長

中山高広

**Q** 当中間期の業績及び下半期の見通しについて説明してください。

**A** 当グループの上半期連結業績は、国内需要において、特にカメラ付き携帯電話機やデジタルスチルカメラの需要増を背景としたビルドアップ多層プリント配線板の受注増により、高付加価値製品が堅調に推移したこと、また昨年から実施いたしました国内合理化・再構築の効果が上半期順調に表面化してきたことなどにより、収益に大幅な改善が見られました。下半期の国内需要は、引き続き高付加価値製品を中心に堅調に推移していくものと期待されるものの、昨今の製品ライフサイクルは非常に短く、予断を許さない状況であり、当社としてはこれに適切に対応するため、さらなる合理化を推進してまいり所存であります。

一方海外、特に中国においては江蘇省無錫市のビルドアップ生産工場（希門凱電子）が前期の創業赤字から脱却し黒字化したこと、さらに広東省東莞市の両面・多層生産工場（旗利得電子）及び同市に宝成グループとの合併で設立した工場（瑞昇電子）がそれぞれ順調であることなどにより、海外の業績が向上し、当グループの収益向上に大きく貢献しております。そのような中、通期連結業績は、売上高1,120億円（前期比100.2%）、経常利益56億円（前期比59億円改善）、当期純利益27億円（前期比37億円改善）と予想しております。

**Q** 中長期的にどのような経営ビジョンを描いていますか？

**A** まずグローバル競争を勝ち抜くため、海外展開の強化及び合理化を進めてまいります。現在、片面プリント配線板からビルドアップ多層プリント配線板までを海外で生産・供給可能な体制が整っておりますが、片面プリント配線板については、需要動向に応じ、抜本的な合理化

を視野に入れた収益改善策を図り、ビルドアップ多層プリント配線板などの高付加価値製品については、お客様の要求にスピーディーに対応できるよう、適切な供給体制を確立してまいります。また日本から中国に生産シフトする現在の状況を踏まえ、最適なグローバル生産体制の強化を実施してまいります。

次に国内では、国内関係会社の再編、不採算部門の合理化により、生産効率を高めてまいります。また軽薄タイプのビルドアップ、リジッド・フレックスの各プリント配線板、またそれらの技術を使用したモジュール基板などの高付加価値製品には、当グループの経営資源を重点的に投入し、国内での技術力を高め、海外生産との差別化を図ることで、お客様の要求に合わせた強い体制を構築してまいります。

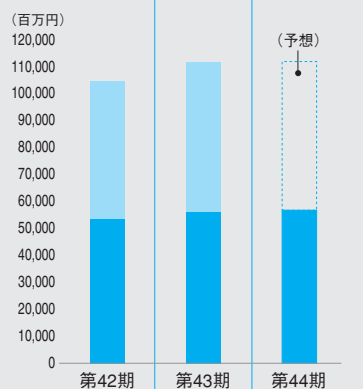
**Q** 商品開発の状況をお聞かせ下さい。

**A** カメラ付き携帯電話機、DVDプレイヤー、薄型テレビなどの情報通信分野及びデジタル家電をはじめとする電子機器は、小型・軽量化、高速化、低消費電力化などの技術革新がめざましく、それらの重要な部品であるプリント配線板には高密度化、高耐熱化、高信頼性、高周波対応、高速伝送対応、環境への対応などが求められております。それらに対応するため、微細回路形成技術、半導体パッケージの高密度・高速化に必要な技術、次世代プリント配線板材料の評価技術等に必要とされる要素技術的研究や、次世代ビルドアップ、異種材料との複合、半導体パッケージ用、部品内蔵などの新製品開発を進めております。開発に独創性とスピードが求められる時代であり、独自の新製品をいち早く市場に出せるよう、優れた技術を有する企業・団体との共同研究・開発にも取り組んでおります。

# フィナンシャルハイライト (連結)

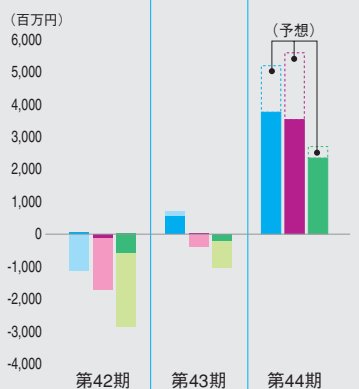
		第42期	第43期	第44期
		平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高 (百万円)	中間期	53,475	56,156	56,807
	通期	104,540	111,744	112,000(予想)
営業利益 (百万円)	中間期	56	542	3,760
	通期	△ 1,138	703	5,200(予想)
経常利益又は経常損失 (△) (百万円)	中間期	△ 122	25	3,531
	通期	△ 1,721	△ 393	5,600(予想)
当期純利益又は当期純損失 (△) (百万円)	中間期	△ 589	△ 238	2,341
	通期	△ 2,871	△ 1,057	2,700(予想)
株主資本 (百万円)	中間期	51,451	47,564	49,028
	通期	49,715	46,205	—
総資産 (百万円)	中間期	137,875	146,204	137,009
	通期	149,476	154,271	—
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△) (円)	中間期	△ 11.23	△ 4.54	44.85
	通期	△ 54.66	△ 20.16	51.76(予想)
1株当たり株主資本 (円)	中間期	979.28	905.72	939.97
	通期	946.43	883.26	—

■ 売上高



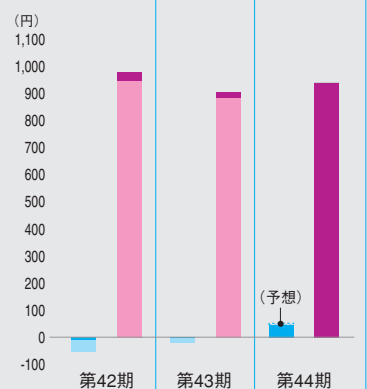
■ 中間期

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



■ 中間期

■ 1株当たり当期純利益 ■ 1株当たり株主資本



■ 中間期

## 用途別売上高情報

用途別の売上高につきましては、特にカメラ付き携帯電話機に代表されます移動体通信機器及び自動車搭載用機器（カーエレクトロニクス）が好調に推移いたしました。また、デジタルスチルカメラも好調であります。プラズマディスプレイ及び液晶テレビなども好

調ではあります。AV機器全体の売上を牽引するまでは至っておりません。アミューズメント機器については、一部家庭用ゲーム機の減少がみられます。下半期につきましては、上半期の売上状況と大きく変わらないものと思われま

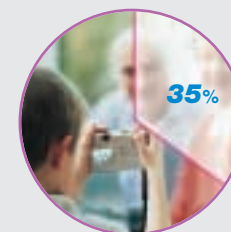
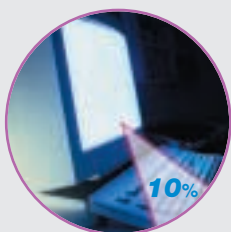
### 自動車搭載用機器

### 移動体通信機器

### AV機器

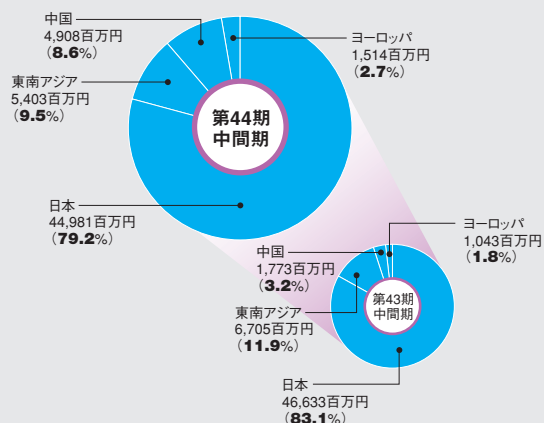
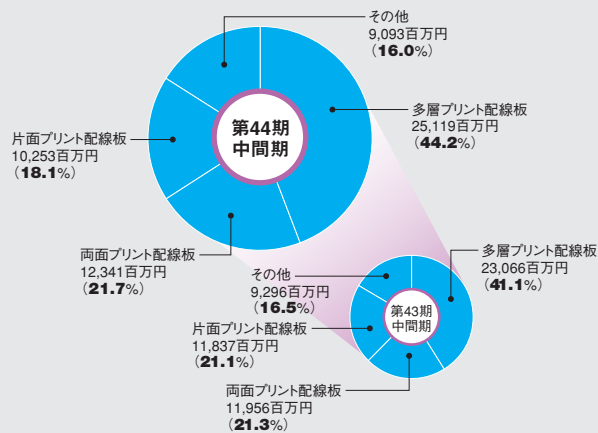
### 情報機器

### その他



## 品目別売上高情報

## 所在地別売上高情報





## CMKの躍進を支える技術力

1975年、最高の品質と高精度な製品づくりのため、CMKは業界で初めて、独自のCADシステムを導入いたしました。このシステムをベースにさまざまなアプリケーションと技術ノウハウを蓄積し、独自のプロダクシ



ョン・システムを構築することにより、CMKは業界のトップ企業へと成長いたしました。1994年4月、その高い技術力を誇る設計部門が独立し、(株)シエムケイ回路設計センターが誕生いたしました。専門性を活かした設計者の教育・育成を積極的に行い、また蓄積されたプリント配線板メーカーとしてのあらゆるノウハウを活かし、製造コストをも視野に入れた高度な設計ソリューションを提供いたしております。

設立以来、高い収益率を維持しており、また1999年6月にはISO9001を取得し、高い品質管理能力も証明しております。

設立以来、高い収益率を維持しており、また1999年6月にはISO9001を取得し、高い品質管理能力も証明しております。

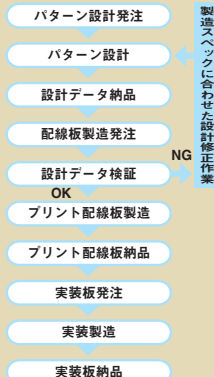
(株)シエムケイ回路設計センターは、1994年4月に当社の回路設計部門が独立することにより設立されました。国内に7拠点（埼玉・群馬・松本・豊田・名古屋・大阪・五反田）があり、100台余のCADと約90名（うちプリント配線板設計技術検定合格者80名）の設計者が、お客様のさまざま

## “デザイン・イン”のメリット

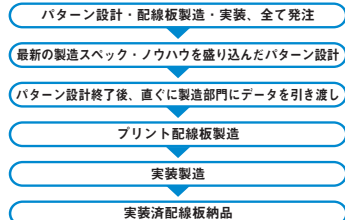
シエムケイ回路設計センターでは、「まずお客様ありき」の発想のもと、お客様の製品づくりのコンセプトに沿って、プリント配線板製造のあらゆるノウハウを盛り込みながら、高機能、高密度、高コストパフォーマンス、短納期、環境問題なども考慮した設計対応、いわゆる“デザイン・イン”のメリットを活かした設計のソリューションを提供しております。また、この他にも各種ノイズ問題改善への取り組みと、電気特性を考慮したバランスの取れた設計対応を行い、電磁界解析ソリューションによる最新設計手法を手がけております。

### ■ デザイン・インによる納期の短縮メリット

#### 一般的なデザインの製造フロー



#### CMK設計による製造フロー



納期の短縮効果

なニーズにお応えし、高い技術力によるスピーディーな設計対応をしております。

CMKグループの中核を担う、シイエムケイ回路設計センターをご紹介します。

## 今後の課題について

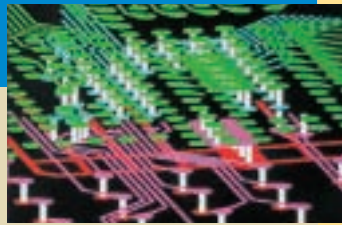
国内のエレクトロニクス業界は、経営的にも技術的にも大きな岐路に立たされております。汎用品においては価格対応に迫

られ生産の海外シフトが加速し、国内の空洞化が進んでおります。国内での生産を維持するためには、より高度な付加価値製品の開発は不可欠な要素となっております。シイエムケイ回路設計センターは、こうした厳しい経営

環境を打破すべく、高付加価値製品である高多層ビルドアッププリント配線板の設計システム、3次元ビューワなどを導入しております。これによりリアルタイム3次元表示、部品実装シミュレーションなどの機能を駆使した、高度で柔軟な設計対応を行っております。プリント配線板は、

電子部品・半導体とともに進化してまいりました。特に半導体の変遷は、プリント配線板の変遷でもあります。これらのニーズを捉えていくためにも、近年においては、集積回路（LSI）の設計に取り組みはじめております。

常に最先端の回路設計技術を追求めるシイエムケイ回路設計センターに対し、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



3次元ビューワに表示された立体配線図



プリント配線板設計時に行う部品実装シミュレーション

## CMKヨーロッパでISO/TS16949の認証取得

グループ会社CMK EUROPE N.V.（CMKヨーロッパ 所在地：ベルギー）が、本年8月にISO/TS16949:2002年版の認証を取得いたしました。ISO/TS16949は、GM、フォード、クライスラーなどビッグ3と言われる米国自動車産業の大手企業が要求する品質システム規格であるQS9000をベースに、VDA6.1（独）、EAQF（仏）、AVSQ（伊）といった欧州各国の自動車業界用品質システム規格を融合させてできたISOの品質システム規格です。この新しい品質規格の認証取得はCMKヨーロッパにとって、難関であった自動車搭載用プリント配線板市場へ進出するための強力な武器であり、今後のシェア拡大に大きく貢献していくこととなります。



CMKグループ全体にとって、自動車搭載用プリント配線板市場シェア拡大は重要課題でありますので、他の国内外のグループ会社においても、認証取得を計画しております。

日本国内においては、ISO/TS16949の認証取得への準備段階として、ISO9001:2000年版を工場だけでなく、本社、技術、営業に至るまで段階的に取得していくことを計画しております。

## ビルドアッププリント配線板を中国工場（無錫）で増産

当グループの中国における3番目の生産拠点である希門凱電子（無錫）有限公司（江蘇省無錫市）において、生産設備の増強を実施いたしました。



同社は中国において大きな成長が期待される情報端末・デジタル機器向けの高層ビルドアッププリント配線板の生産・供給を目的としており、グループとしては、初めての海外におけるビルドアップ（PPBU：他のビルドアップに比べ、より汎用性があり、高い剛性をもつ）の生産拠点となりました。

同社は月産5,000㎡体制で昨年10月に開業いたしました。当初より携帯電話機向けをはじめとした好調な受注により、生産設備もフル稼働となっております。今回の設備増強により、月産7,000㎡体制を確立し、さらなる売上・利益の拡大を目指してまいります。

## ■ 中間連結貸借対照表

	当中間期 平成15年9月30日現在	前中間期 平成14年9月30日現在	前期 平成15年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	52,477	58,050	68,024
現金及び預金	10,570	13,784	28,523
受取手形及び売掛金	30,880	31,438	27,200
有価証券	—	362	150
たな卸資産	9,277	10,364	9,942
繰延税金資産	609	870	661
その他	1,161	1,278	1,590
貸倒引当金	△ 21	△ 47	△ 44
固定資産	84,500	88,153	86,208
有形固定資産	64,861	65,964	67,320
建物及び構築物	29,869	29,966	30,781
機械装置及び運搬具	19,770	19,878	20,957
土地	13,463	13,456	13,462
建設仮勘定	913	1,733	1,149
その他	843	928	969
無形固定資産	2,679	2,813	2,914
連結調整勘定	308	323	318
その他	2,370	2,490	2,595
投資その他の資産	16,960	19,376	15,973
投資有価証券	9,544	7,865	7,969
繰延税金資産	1,795	2,015	2,166
その他	5,666	9,559	5,887
貸倒引当金	△ 46	△ 63	△ 49
繰延資産	30	—	39
資産合計	<b>137,009</b>	<b>146,204</b>	<b>154,271</b>

(単位：百万円)

	当中間期 平成15年9月30日現在	前中間期 平成14年9月30日現在	前期 平成15年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	37,209	59,575	56,339
支払手形及び買掛金	12,824	13,116	11,112
短期借入金	12,904	13,796	13,814
一年内償還予定社債	—	20,000	20,000
未払金	8,248	9,784	8,291
未払法人税等	955	570	329
賞与引当金	812	769	880
その他	1,463	1,539	1,909
固定負債	45,004	34,543	45,786
社債	5,600	—	5,600
転換社債	12,408	12,408	12,408
長期借入金	24,791	19,414	25,230
退職給付引当金	326	219	245
役員退職引当金	590	610	629
その他	1,288	1,891	1,671
負債合計	<b>82,213</b>	<b>94,119</b>	<b>102,125</b>
<b>(少数株主持分)</b>			
少数株主持分	5,767	4,520	5,939
<b>(資本の部)</b>			
資本金	16,117	16,117	16,117
資本剰余金	15,874	15,874	15,874
利益剰余金	20,221	19,141	18,059
その他有価証券評価差額金	471	△ 240	△ 260
為替換算調整勘定	△ 2,074	△ 1,960	△ 2,087
自己株式	△ 1,582	△ 1,368	△ 1,497
資本合計	<b>49,028</b>	<b>47,564</b>	<b>46,205</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	<b>137,009</b>	<b>146,204</b>	<b>154,271</b>



## ■ 主要な連結子会社

### 国内

- シイエムケイメカニクス株式会社
- シイエムケイドリリング株式会社
- 日本シイエムケイマルチ株式会社
- 株式会社シイエムケイ回路設計センター
- エスイープロダクツ株式会社
- 日本シイエムケイニイガタ株式会社
- シイエムケイファイナンス株式会社
- シイエムケイパッケージテック株式会社
- 株式会社山梨三光
- シイエムケイ蒲原電子株式会社
- ジェイティシイエムケイ株式会社
- ワコーエレクトロニクス株式会社
- 日本エスアイシイ株式会社

### 海外

- 新昇電子(香港)有限公司
- CMK EUROPE N.V.
- 希門凱電子(無錫)有限公司
- CMK SINGAPORE(PTE.)LTD.
- 旗利得電子(東莞)有限公司

## ■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売上高	56,807	56,156	111,744
売上原価	47,620	50,146	99,767
売上総利益	9,187	6,009	11,977
販売費及び一般管理費	5,427	5,466	11,273
営業利益	3,760	542	703
営業外収益	993	974	1,431
営業外費用	1,222	1,491	2,528
経常利益又は経常損失(△)	3,531	25	△ 393
特別利益	107	281	372
特別損失	662	376	1,112
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間(当期)純損失(△)	2,975	△ 70	△ 1,134
法人税、住民税及び事業税	892	334	549
法人税等調整額	△ 96	115	158
少数株主損失(△)	△ 162	△ 281	△ 784
中間純利益又は中間(当期)純損失(△)	2,341	△ 238	△ 1,057

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,557	3,554	9,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,198	△ 6,663	△ 11,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 21,952	△ 2,032	9,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△ 69	△ 136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 17,584	△ 5,211	6,823
新規連結に伴う現金等の増加額	—	—	3,452
連結除外に伴う現金等の減少額	—	△ 21	△ 21
現金及び現金同等物の期首残高	27,977	17,722	17,722
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	10,392	12,489	27,977

# 単独財務諸表

## ■ 中間単独貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前期
	平成15年9月30日現在	平成14年9月30日現在	平成15年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	46,050	53,796	63,110
現金及び預金	6,415	10,264	23,982
受取手形	2,755	3,889	3,078
売掛金	24,730	24,130	21,810
たな卸資産	4,400	5,267	4,548
短期貸付金	6,346	7,541	7,983
繰延税金資産	449	646	508
その他	961	2,090	1,232
貸倒引当金	△ 10	△ 35	△ 32
固定資産	65,362	67,940	66,753
有形固定資産	34,604	37,455	35,916
建物	15,501	16,465	16,018
機械及び装置	5,200	6,829	5,887
土地	12,057	12,066	12,066
その他	1,845	2,094	1,945
無形固定資産	1,591	1,756	1,816
投資その他の資産	29,165	28,728	29,020
投資有価証券	17,777	16,368	16,431
関係会社出資金	3,684	3,684	3,684
長期貸付金	3,022	4,120	3,693
繰延税金資産	2,343	2,429	2,716
その他	2,371	2,174	2,532
貸倒引当金	△ 34	△ 49	△ 37
繰延資産	30	—	39
<b>資産合計</b>	<b>111,443</b>	<b>121,737</b>	<b>129,903</b>
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	15,869	36,976	35,084
支払手形	1,438	3,035	1,664
買掛金	6,571	6,658	5,560
短期借入金	4,699	4,272	5,014
一年内償還予定社債	—	20,000	20,000
賞与引当金	389	365	426
その他	2,770	2,645	2,418
固定負債	41,375	31,194	42,074
社債	5,500	—	5,500
転換社債	12,408	12,408	12,408
長期借入金	22,273	17,423	22,875
退職給付引当金	124	—	69
役員退職引当金	511	501	516
その他	557	862	705
<b>負債合計</b>	<b>57,244</b>	<b>68,170</b>	<b>77,159</b>
<b>(資本の部)</b>			
資本金	16,117	16,117	16,117
資本剰余金	15,874	15,874	15,874
資本準備金	15,874	15,874	15,874
利益剰余金	23,343	23,151	22,513
利益準備金	982	982	982
任意積立金	20,000	20,262	20,000
中間(当期)未処分利益	2,361	1,906	1,530
その他有価証券評価差額金	444	△ 209	△ 263
自己株式	△ 1,582	△ 1,368	△ 1,497
<b>資本合計</b>	<b>54,198</b>	<b>53,566</b>	<b>52,744</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>111,443</b>	<b>121,737</b>	<b>129,903</b>

## ■ 中間単独損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売上高	45,089	46,858	90,533
売上原価	40,108	43,335	83,538
売上総利益	4,980	3,523	6,995
販売費及び一般管理費	3,154	3,247	6,468
営業利益	1,825	275	526
営業外収益	1,564	1,557	2,948
営業外費用	1,467	1,302	2,615
経常利益	1,923	530	859
特別利益	50	289	302
特別損失	424	215	1,008
税引前中間(当期)純利益	1,549	604	153
法人税、住民税及び事業税	643	22	56
法人税等調整額	△ 81	195	86
中間(当期)純利益	987	387	10
前期繰越利益	1,373	1,519	1,519
中間配当積立金取崩額	—	—	262
中間配当額	—	—	262
中間(当期)未処分利益	2,361	1,906	1,530

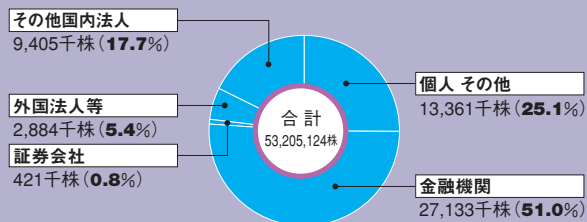
## 株式情報 (平成15年9月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	199,871,000株
■ 発行済株式の総数	53,205,124株
■ 株主数	4,922名
■ 大株主 (上位10名)	

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,923	9.5
中山登	2,651	5.1
株式会社みずほコーポレート銀行	2,576	4.9
財団法人電子回路基板技術振興財団	2,500	4.8
第一生命保険相互会社	2,345	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,231	4.3
松下電工株式会社	1,860	3.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口)	1,822	3.5
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	1,658	3.2
株式会社三井住友銀行	1,613	3.1

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の持株数のうち、投資信託など同社が信託を受けている株式を除く実質所有株式数は119千株(議決権比率0.2%)であります。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数のうち、投資信託など同社が信託を受けている株式を除く実質所有株式数は917千株(議決権比率1.7%)であります。
3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口)の持株数1,822千株は、日立化成工業株式会社の信託財産であります。
4. 資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)の持株数のうち、投資信託など同社が信託を受けている株式を除く実質所有株式数はありません。

### ■ 持株数別株式分布状況



## 会社概要 (平成15年9月30日現在)

■ 商号	日本シエムケイ株式会社 (証券コード6958 日本CMK)
■ 設立	昭和36年2月25日
■ 資本金	161億1,723万8,020円
■ 本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目5番1号
■ 従業員数	1,996名 (うち出向者627名を含み、受入出向者145名を除いています。)

### ■ 役員 (平成15年10月1日現在)

取締役	代表取締役会長	中山登	
	代表取締役社長	中山高広	
	執行役員会議長		
	取締役執行役員副会長	関 亀春	
	取締役執行役員常務	兼 本国昭	
取締役執行役員常務		関 茂之	
		西 国男	
	取締役執行役員	服部幹彦	
	監査役	常勤監査役	佐藤知正
		監査役	高橋秀明
監査役		松多辰尚	
執行役員	執行役員副社長	荒木重男	
	執行役員	上遠野臣司	
	執行役員	近藤定信	
	執行役員	高井建郎	
	執行役員	山口勉	

## 株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	決算期の翌日から3か月以内に開催
配当金支払 株主確定日	毎年3月31日及び中間配当金の支払を 行うときは9月30日
名義書換停止期間	(1) 毎年4月1日から4月30日まで (2) 上記のほか必要があるときは、 予め公告した一定期間
名義書換手数料	無料
公告掲載新聞	日本経済新聞
貸借対照表及び 損益計算書掲載の ホームページアドレス	<a href="http://www.cmk-corp.com">http://www.cmk-corp.com</a>
名義書換代理人 事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 電話 (03) 3668-9211 (代)
同 取 次 所	日本証券代行株式会社 各支店



<http://www.cmk-corp.com>

# CMK

〒163-1388 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号  
新宿アイランドタワー43F  
TEL.03-5323-0231 (大代表)